雪かきで汗

商工会青年部　除雪ボランティア

2月5日、商工会青年部が除雪ボランティアを行いました。

今年は雪が多く、屋根から落ちた雪が屋根付近まで積もるほどでしたが、1軒1軒、ていねいに高齢者世帯5軒の除雪を行いました。

藤原部長は「初めての試みでしたが無事終えることができてほっとしています。何よりお住まいの方の笑顔が見れて良かったです。」と話していました。

▲青年部の皆さん、ありがとうございました。

落ちないホタテでゲン担ぎ

噴火湾とようら観光協会、受験生に寄贈

▲田中さん（左）から木下先生へお守りが手渡されました。

2月8日、一般社団法人噴火湾とようら観光協会が豊浦中学校の3年生22名のために、手作りの受験合格祈願お守り「落ちないホタテ」を贈りました。

お守りは、荒波のなかでも海中のロープから落ちずに水揚げされる縁起物の貝殻に、「合格」の文字を入れ、豊浦神社で合格祈願を行った後、3年生担任の木下友博先生から受験生へ手渡されました。

地域おこし協力隊の活動日記

文／星　明子　隊員

3年前の春、豊浦と大岸を結ぶトンネルのある道から見える噴火湾、桜、新緑、美しい光景に感動してから、長いようであっという間だった協力隊の任務が終わろうとしています。

振り返ると豊浦町に移住した3年間いろいろありました。農業研修のこと、仕事と家事、子育ての両立、就農のこと、何とかここまできたと感慨深さもありますが、ここからがスタートで気が引き締まる思いです。

移住して良かったことを思い返すと、やっぱり『人』です。研修の親方や奥様たち、たくさんの方にお世話になってきました。地域の方のいろんな考え方に触れながら人の温かさに助けてもらってきました。

2つ目は『自然の豊かさ』です。春の山菜シーズンはわくわくします。仕事が立て込んでいても山菜を食べないと落ち着かないほど自然のもの、山菜が好きです。水が綺麗でないと育たない植物が豊かに育つ環境、水芭蕉の群生など毎年感動します。海が近くて魚介類が新鮮、美味しいホタテもある。とても贅沢な環境です。自然の豊かさは、食卓に精神的な豊かさをもたらせてくれます。

食、伝統、環境などに興味があるので、もっと地域の方と関わり学びたかったのですが、それが叶わなかったのが、新型コロナによる影響でした。町内会の行事もなくなり、集まることが制限されたことは、協力隊の活動において、また私自身にとって残念でした。これから先みんなで集まれる時がきたら、昔から受け継がれてきたものを地域の方に教えていただけたら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

私たち夫婦の協力隊任務は、『豊浦いちごの担い手になるために、いちごの研修を行い就農すること』でした。

地元の人に愛され支持されるいちご農家になることをこれからの目標に、『美味しくて安心、人と自然に優しい』そんな農園にしていきたいと思います。

4月から誕生する『星の実ファーム』をどうぞよろしくお願いいたします。

▲いちご栽培を指導してくださる親方たちと、今年度のいちご研修生。いちご分校のハウスにて。